

公共建築の未来をつくろう。



九州地方整備局 宮繕部（建築、電気、機械） 入省案内



霞が関地区



中央合同庁舎第6号館赤れんが棟



中央合同庁舎第7号館



総理大臣官邸



京都迎賓館

ようこそ「官庁宮繕」へ



伊勢志摩サミット国際メディアセンターアネックス



国立西洋美術館



国際こども図書館



国立アイヌ民族博物館



長崎原爆死没者追悼平和祈念館



宮崎地方気象台



鹿児島県警察学校



福岡第1法務総合庁舎

国家機関の建築物（官庁施設）の整備は、一部の特殊な施設などを除いて、国土交通省の営繕部が一元的に実施しています。



熊本合同庁舎



大分県庁舎（受託）



ハローワーク佐賀



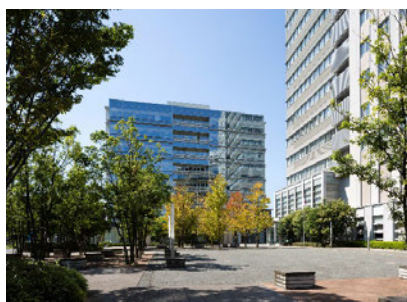
西都児湯森林管理署

営繕部のとりくみ

良質な官庁施設の整備を通じて、時代と共に変化する社会的要請に応えるとともに、公共建築分野において常に先導的な役割を果たすよう取り組んでいます。

地域のまちづくりへの貢献

官庁施設は、都市の中核施設や地域の交流拠点となる場合が多く、地方公共団体をはじめとする様々な主体と連携し、官庁施設整備がまちづくりに貢献できるよう取り組んでいます。



～PROJECT 熊本合同庁舎～

熊本県、熊本市、地域住民、地元企業等と連携し、地域一体となって進めていた熊本駅周辺地区への都市機能集積という目標に対し貢献した事業です。

整備にあたっては協議会を通じて地域の声を取り入れ、地域に開かれた広場等を整備しました。

今でも庁舎内でイベントを開催するなど地域に親しまれる庁舎となっています。



～PROJECT 唐津港湾合同庁舎～

ウォーターフロント整備を通じて、まちづくりに貢献した事業です。

“市民や来訪者など多くの人が集う「賑わい・交流空間」”を目標として、佐賀県、唐津市、地域住民、関係公的機関等と協力しました。

唐津東港地区の整備にあたっては、地元団体「唐津みなとまちづくり懇話会」と協議を行い、明治・大正期の唐津を想起させる煉瓦調のデザイン、イベントにも活用できるエントランスホールに面した大庇、周辺とのつながりを考えたフェンスを設けない外構計画等の地元意見を取り入れ、地域になじんだ庁舎となっています。



安全・安心の確保

官庁施設が、災害に対して安全であるだけでなく、災害応急対策活動に必要な拠点として十分機能するように、計画的に整備を行っています。



～PROJECT 福岡第1合同庁舎～

既存庁舎に鉄骨ブレースによる構造補強を行い、新たに増築した建物にも鉄骨ブレースを設置することでデザインの統一を図り、景観への配慮を行っています。

いざという時に役立った官庁施設

平成28年4月の熊本地震では、熊本市の要請を受け、熊本合同庁舎が最大約1000名の住民の避難所として使用されました。

他にも、市庁舎が被災し使用できなくなった地方公共団体の要請を受け、市の災害対策本部が臨時に設置された官庁施設もありました。



地球環境への配慮

建築物は、その計画から建設、運用、廃棄に至るまで、大量の資材とエネルギーを必要とし、常に環境に負荷を与えています。営繕部では、LED照明、高効率の設備機器等の導入や太陽光発電等の再生エネルギーの活用など「環境負荷低減に配慮した官庁施設」の整備を推進しています。

～PROJECT 種子島合同庁舎～

日射負荷を低減するバルコニーや屋上緑化、再生エネルギー（太陽光、風力）利用などにより、日差しと風の強い種子島の特性に対応し、環境と共生する庁舎を実現しています。



木材利用の推進

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、官庁施設の木造化や内装等の木質化などを推進しています。

～PROJECT 宮之城森林事務所～

木造平屋建ての庁舎で、事務室や倉庫内の棚などについても一体的に木材で整備しています。



工事中的様子

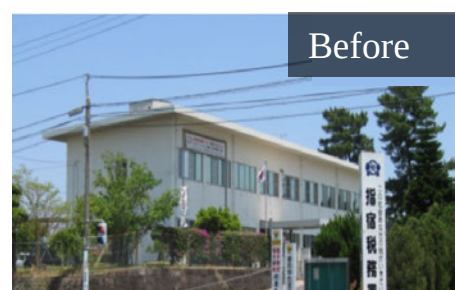
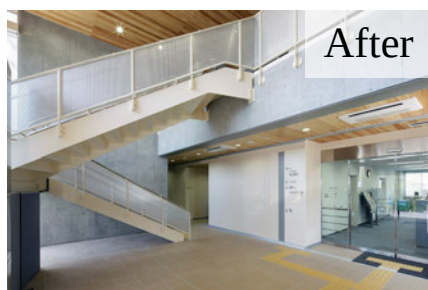


老朽化対策

既存官庁施設をより長く安全に利用するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業（ハード対策）や、効果的・効率的に機能維持するための保全指導（ソフト対策）を実施しています。

～PROJECT 指宿税務署～

増築と既存庁舎の改修を一体的に整備し、長寿命化を図っています。



～ 保全指導 ～

施設管理者を対象とした会議を開催し、適切な保全手法や建築関連法令等を説明しています。



会議の様子（会場開催）



会議の様子（会場開催）



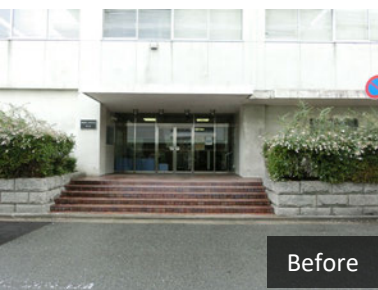
会議の様子（Web開催）

誰にでも使いやすい

高齢者や障がい者の方々を含むすべての人が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる官庁施設を目指し、ユニバーサルデザインの視点をもって整備を進めています。

～PROJECT 福岡第2合同庁舎別館～

古い建物では、手すりがない等、庁舎へのアクセスが難しい状況場合があります。こちらの庁舎では点字ブロック・スロープ・手すりを新設し、誰でもより安全に、円滑に庁舎へアクセスできるよう整備しました。



Before



After



After

災害時の地方公共団体への支援

大規模災害などで建築物が被災し、地方公共団体から支援要請があった場合、営繕部・営繕事務所のほか、状況に応じて全国の営繕組織からも職員を派遣し（TEC-FORCE）、被災施設の調査や助言などの支援を行っています。



宇土市庁舎の現地調査



山都町の施設現地調査



応急危険度判定の状況

平成28年熊本地震では、市庁舎が被災した宇土市からの要請で、営繕職員を現地派遣し、本省官庁営繕部や業界団体などの協力を得ながら、被災状況調査から解体まで技術的支援を実施しました。

また、被災地方公共団体からの要請で、営繕職員を山都町へ派遣し、町営施設の安全確認を支援したほか、全国の営繕職員も熊本市内や益城町内へ派遣されて、被災した民間ビルや住宅などの応急危険度判定を行いました。

大阪府北部地震では、高槻市より公共施設のコンクリートブロック塀の調査の要請があり、九州地方整備局営繕部から応急危険度判定士の資格を持つ職員を派遣し、迅速な安全点検及び注意喚起を行いました。



既設塀の傾きの確認



高槻市職員との打合せ



高槻市長へ調査結果の報告

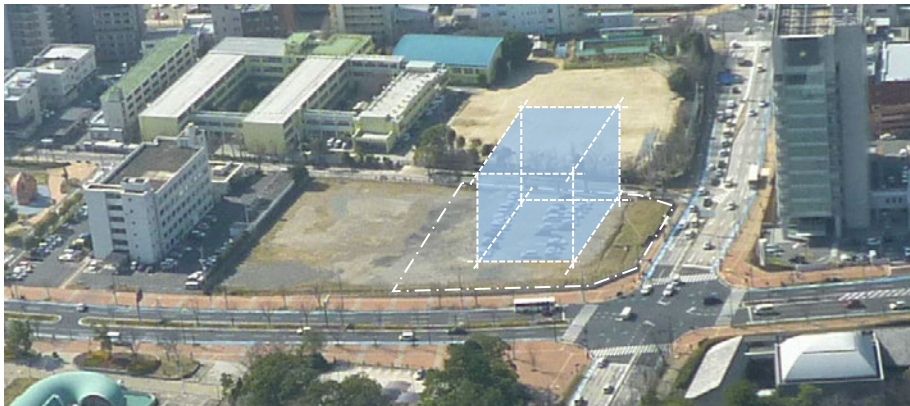
営繕部のしごと

国家機関の建築物（官庁施設）の整備は、一部の特殊な施設などを除いて、国土交通省の営繕部が一元的に実施しています。

営繕部のしごとの流れを、ある官庁施設を例にとって説明すると次のようになります。

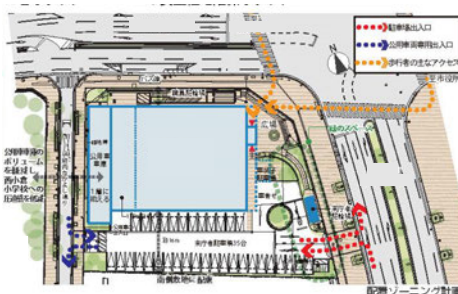
企画

施設の老朽、狭あいなど不具合状況を調査し、建替えや改修など必要となる事業を**企画・立案**し予算要求を行います。



設計

入居官署へのヒアリングや現地調査により、**基本設計**や**実施設計**を行い、発注図面作成や工事費算出を行います。



西側の外観イメージ



アプローチの外観イメージ

施工

工事を発注し、設計図面に基づく施工がなされるよう**監督**を行い、完成時には**検査**を行います。



現場での配筋検査



遠隔での配筋検査（オンライン）

保全

完成した施設が大切に**維持管理**されるよう、技術的な観点から入居官署に**支援**や**助言**を行います。



営繕部のひと

企画

計画課

計画課は企画段階にあたる部署です。事業の発案や要求方針の決定、工事に係わる契約に関する業務や予算の計画及び調整を行います。また、施設を管理する各省庁や他部署との窓口としての役割や、一般的な事務を担います。

企画

保全

調整課

調整課では、国の建物を中長期的にどう整備するか調整・企画・立案すること、営繕工事関連の環境対策に関すること、官公庁施設の保全に関することを行っています。

設計

整備課

整備課は施設の設計や積算を行っています。より良い施設とするために、施設利用者のニーズを汲み取り、設計基準を守りつつ、設計図面を作り上げています。

施工

技術・評価課

技術・評価課は工事の入札契約に関する事務や営繕工事に関係する工事の検査、完成施設の評価を行っています。

施工

保全

保全指導・監督室、熊本営繕事務所、鹿児島営繕事務所

保全指導・監督室、営繕事務所では国の庁舎の工事監督、庁舎管理者への保全指導を行っています。工事監督は、庁舎に入居する職員や施工業者など多くの関係者と話し合いながら、設計図面をもとに、工事が適切に進むよう調整を行っています。

現職の職務内容（担当業務）

現在は、主に3つの業務を担当しています。1つ目は「庁舎の合同・集約化の構想」です。他省庁や地方公共団体とも連携し、防災・減災、街づくりへの貢献などを念頭に、建設候補地の検討や、合同・集約化の構想を取りまとめています。2つ目は「官庁施設の環境対策」です。近年は新築建物のZEB化の取組を推進しています。3つ目は「官庁施設の保全業務」です。施設が、長く適正に使えるように、建物の保全に関する技術支援を行っています。

この仕事の魅力

この仕事で担当する施設は、多岐にわたります。そのため、建設場所や規模・用途も様々で、同じ施設はないところがこの仕事の面白さだと思います。普段なら出会う機会のない方の仕事を目にしたり、話を聞くことも、とても興味深いです。

これまで様々な業務に携わる機会がありました。新しい業務に携わることは、大変さもありますが、一方でそのつど新しい発見があり、やりがいを感じることも多いです。

調整課 企画係長

横山 真由美

経歴

H11 建築課（現整備課） 配属
H16 長崎営繕事務所
H18 建築課
H21 整備課
H23 育児休業
H25 整備課
H25 育児休業
H26 整備課
H31 建政部 住宅整備課
R02 調整課

保全

企画

設計

整備課 電気設計審査係長

朴木 裕也

経歴

H15 設備課（現整備課） 配属
H18 熊本営繕事務所
H20 鹿児島営繕事務所
H25 計画課
H27 鹿児島営繕事務所
H31 整備課

現在の職務内容（担当業務）

建築設備の電気設備担当として、官公庁施設の新築や改修工事に関する設計図面及び積算の審査に携わっています。現地確認や官公庁施設を利用する職員に運用方法のヒアリングを実施し、使いやすい施設となるように検討した設計内容が設計図面に反映されているか確認を行っています。

この仕事のやりがい

営繕部は各省各庁の施設（税務署、法務局、ハローワーク等）に携わることができ、幅広く学ぶことが出来るためやりがいを感じています。また、行った仕事の成果が建築物として形に残ることもやりがいになり、仕事のモチベーション向上にも繋がっています。

営繕部のひと

この仕事の魅力

九州管内には、営繕部が関与する施設が800施設以上あり、その多くが老朽化しているため、毎日建て替えや改修工事の相談が各省庁の施設管理担当者から寄せられます。

各施設のニーズをしっかりと把握し、営繕部のノウハウを活用して、各部門と協議を行い、事業の計画を策定します。

事業が当初の予定通り完成し、そこで働く職員や利用者が気持ちよく利用できる建物を整備すること、また、その目標に向けて関係者で協力する過程がこの仕事の魅力です。

職場の雰囲気

建物の整備では、設計、工事毎に、建築・電気・機械の各担当者が完成まで協力して事業を進めていくので、経験にかかわらず意見を出し合います。

また、民間事業者など様々な外部の人たちとも話をするので、雑談を含め、だれとでも気軽に話が出来る明るい雰囲気です。

計画課 課長補佐

野田 堅介

経歴

H03 本省官庁営繕部 配属
H09 九州地方建設局 建築課
H16 四国地方整備局
H19 九州地方整備局 建政部
H21 計画課
H25 整備課
H29 熊本営繕事務所
H30 計画課
R02 熊本営繕事務所
R03 計画課

企画

熊本営繕事務所 調査・保全係長

中川 倫代

1日のスケジュール

08:30 始業
09:00 課内打ち合わせ
(担当工事の状況報告など)
12:00 昼休み
13:00 現場へ移動
13:30 改修工事の現場にて打ち合わせ、
現場施工状況の確認
15:00 事務所へ移動
15:30 メール確認、業務の資料整理
16:30 終業※
(※フレックス勤務を利用)

保全 施工

現職の職務内容（担当業務）

官庁営繕施設の工事の監督や、建物の保全のための調査等を担当しています。施設の不具合や劣化があれば、改修工事を行うための予算要求資料の作成も行います。

この仕事のやりがい

工事が始まると、実際の現場の状況や使い勝手、関係者の要望などを検討し、設計図の内容の変更が必要になる場合があります。そのための調整には時間がかかったり、難航する事もありますが、その結果、施設の職員や利用者にとって使いやすい建物が完成します。利用する人から「便利になった」等の声を聞くと嬉しいですね。

印象に残っている仕事

合同庁舎を新営する工事で、敷地内の植栽のうち主要な樹木については林や畑へ実物を見に行き、選定に立会いました。実際に選んだ木が庁舎の周りに植えられるのを見て、自分が営繕事業に携わっている事を実感した仕事です。

印象に残っている仕事

いろいろな業務を経験し、様々な思い出があります。

- ・入省して初めて担当した新築設計と工事完成時の感動。
- ・上司と激論の末、採用されたパウダールームや全面ガラスカーテンウォール。
- ・自ら手続きを行った確認申請（4層吹抜け、大規模建物等の法規制クリアや建築主事との協議）
- ・設計完了期限目の厳しい状況の中、チーム全体で連日奮闘しながらの設計。
- ・民間資金やノウハウ等を活用したPFI事業の契約とその事業全体の綿密な金利計算。

この仕事のやりがい

プロジェクト（新築施設）完了までには、長い年月が必要です。予算化前までの下準備期間、予算化後の華のある設計期間、完成が待ち遠しい工事期間、いずれの時期も複数の営繕部職員（建築職、電気職、機械職）が一体となり責任をもって実行します。完成後施設へ入居する方々の期待に満ちた顔を見たとき、営繕職員の皆も得意満面の笑みを浮かべています。

技術・評価課 営繕品質管理官

立花 俊徳

経歴

S55 建築課（現整備課）配属
H07 中国地方建設局
H09 九州地方建設局
営繕部内各課（係長）
H22 熊本営繕事務所
H23 営繕部内各課（営繕技術専門官）
H26 鹿児島営繕事務所
H28 技術・評価課（課長補佐）
H30 中国地方整備局（事務所長）
R03 現職

施工

現職の職務内容（担当業務）

私は構造分野の設計担当として官庁施設の設計業務や工事に携わっています。主に設計事務所と構造設計に関する協議を行ったり、工事現場からの質疑の対応や構造に関する検討依頼の対応を行っています。

入省希望者へ一言

構造に苦手意識を持つ方は多いと思います。私もそうでしたが職場では頼りになる上司の方々が丁寧に仕事を教えてくださいました。
また、近年若手職員の採用が多いのでちょっとしたことでも聞きやすい環境だと思います。OJTなど研修や勉強会も充実しています。
皆さんの入省をお待ちしております！



設計

整備課 構造係

西田 唯奈

R2年度入省

1日のスケジュール

- 9:15 始業（その日の業務内容やメールの確認）
- 12:00 昼食
- 13:30 打ち合わせ（設計業務に関する協議等）
- 15:00 デスクワーク（現場質疑・構造検討等の対応）
- 18:00 退庁



保全 施工

鹿児島営繕事務所
調査・保全係長

尾上 智之

H29年度入省

1日のスケジュール

- 8:00 登庁
- 8:30 始業・資料整理
- 10:30 現場へ
- 12:00 昼食
- 13:00 現地状況確認・打合わせ
- 17:00 帰庁・資料整理
- 17:15 退庁

現在の職務内容（担当業務）

工事監理として官庁施設の新築や改修工事に携わり、工事受注者や入居官署等とより良い建物になるよう協議や調整を行っています。私は機械設備を担当しており、建物の空調設備や給排水衛生設備、エレベーター設備等を専門に携わっています。また、保全指導として様々な官庁施設に行き、建物の劣化状況の確認や施設管理者に建物を保全する上でのアドバイスも行っています。

入省希望者へ一言

機械職や電気職で入省を考えている方は、大学等で建築関係の専門的なことに触れる機会が少なく、不安に感じると思っています。私も機械職で入省しており、最初はそうでした。しかし、入省して日々の仕事や優しい先輩方に教えて頂きながら学ぶことができるため心配ありません。一緒に仕事をできる日を楽しみにしております。

現職の職務内容（担当業務）

建設現場で、建物の利便性や快適性を考慮しながら、入居官署、設計者、施工者等と協議して建物づくりを行っています。
また、完成後の建物についても、より安全により長く利用していただけるように施設管理者に対して保全指導を行っています。

この仕事のやりがい

1つの建物をつくるために多くの人（入居官署、設計者、施工者等）と関わりつくりあげることによりやりがいを感じます。
また、そこでの人との出会いから学ぶこともたくさんあります。
建設現場で、日々、完成に近づいていく姿に魅力があります。

保全指導・監督室
保全指導・監督官
森 和浩

経歴

- H06 関東地方建設局 配属
- H09 九州地方建設局 計画課
- H11 保全指導・監督室
- H16 熊本河川国道事務所
- H20 中国地方整備局
- H26 調整課
- H31 熊本営繕事務所
- R03 保全指導・監督室



保全 施工

休日の過ごし方



R 3 年度入省職員
（電気）

私は社会人サッカーチームに所属しています。
社会人になっても好きなことができる現在の環境をととても幸せだと感じています。



R 2 年度入省職員
（建築）

私はラーメンが大好きなので、いろいろなお店のラーメンを食べに行っています！
一緒に食べに行きましょう！

営繕部の技術者

一人一人がトータルコーディネーター

営繕部では、建築職、電気職、機械職それぞれの専門知識を持つ担当者が、お互いに密接に連携しながらチームとして業務を行い、官庁施設の整備を行っています。

施設を利用する人の立場に立ち、より良い建物を目指し、どの職種でもトータルコーディネーターとして業務に関わっています。

建 築

- ▶施設利用者のニーズや使い勝手をふまえた部屋の配置
- ▶誰にでも使いやすいデザイン
- ▶大地震の直後も使用できる構造体 など

電 気

- ▶明るさや部屋のデザインに配慮した照明
- ▶部屋の用途に応じた電話・LAN配線
- ▶停電時でも途絶しない電力供給 など

機 械

- ▶快適な温度・湿度を保つ空調
- ▶施設用途や規模をふまえたエレベーター
- ▶断水時でも使用できる給排水 など

建築職

迫田 梓

平成31年度入省



建築職は、建築設計に関わるほかにプロジェクトを総合的に調整する役割も担っています。主に地域にある各省各庁の建物を対象に設計を行っており、入居官署や設計事務所、工事施工者など様々な方とのやり取りによってプロジェクトを進めていく特徴的な仕事です。各省庁ごとに来庁者の特性や業務内容の違い等に合わせて異なる設計を行うので、変化に富んだ面白味を感じられます。

自分が携わったプロジェクトの中でプランが建物として完成した時、庁舎利用者の方から満足いただけた時は、感動とともにやりがいを感じます。国や地域の未来を見据えて建物をプランニングする、魅力ある仕事です。



周囲の景観に配慮した外観

鹿児島第3合同庁舎（1期）鹿児島市



地域の特性をデザインに取り入れたアトリウム

熊本合同庁舎A棟 熊本市



地域に開かれた外部空間

電気職

大西 舞

平成30年度入省



電気設備、どこか難しく聞こえるでしょうが、部屋には照明やコンセント、インターネットに電話……、身近なところに沢山の電気設備があります。

電気設備の設計では、“どれだけ照明があれば明るさが確保されるかな？何処にコンセントがあれば、この施設で業務が困らないかな？”利用者が使いやすい施設になるように考えて図面を作成します。

官庁営繕では規模の大きい施設があり、変圧器や自家発電設備など普段は目にしない機器も沢山あります。建築担当や機械担当、施設を利用される様々な方々と調整を行い、必要な設備が綺麗に仕上がった時にはとてもやりがいを感じる仕事です。



ホール照明



太陽光発電設備



自家発電設備

機械職

中村 壮健

令和2年度入省



機械職の設計では、様々な建物用途・規模の建築物に応じて最適な機械設備の機能確保に努めます。具体的には、室内空気の温度や清浄度を適切にコントロールする空調設備、トイレや手洗いなど水廻りに関する給排水設備、エレベーターなどに関する搬送設備等の事を指します。

利用人数や用途に応じて換気量や給水量などを計算し、環境性や将来性も考慮しながら図面を作り上げていくので、非常にやりがいを感じられる仕事だと思います。また建築職や電気職の職員とも日々調整を行いながら進めていくので、建築や施工に関する幅広い分野を学ぶことも魅力の一つです。



機械室



受水槽室



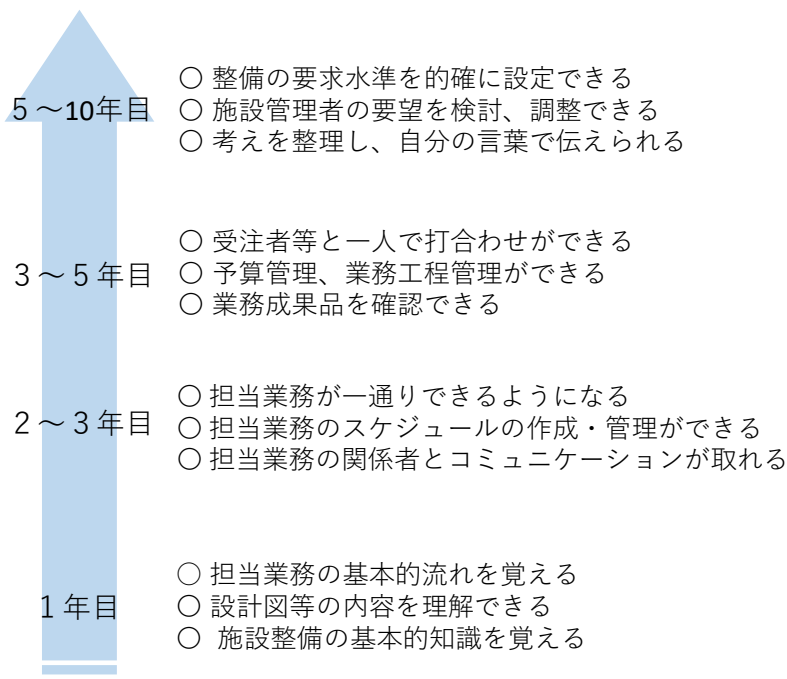
エレベーター

スキルアップ

採用後は、計画的に勉強会、現場見学、研修などのOJT/OFFJTが実施されます。

全国の営繕部職員が参加する国土交通大学校での研修では、貴重な横の繋がりが生まれます。

また、段階に応じて基礎的な研修から専門的な分野の研修を受けることができます。



各研修

- ・ 専門課程営繕科研修
- ・ TEC-FORCE隊員研修



- ・ 建築技術研修
(企画立案、設計審査、
保全指導、BIMなど)
- ・ 現場見学会
- ・ 若手勉強会



- ・ 新規採用職員研修
- ・ 初級課程営繕科研修
- ・ 基本設計コンペ



1年目のモデルケース

■ : 人事課研修

■ : 営繕部研修

新規採用職員研修（前期）
九州技術事務所（久留米市）

新規採用職員研修（後期）
九州技術事務所（久留米市）

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

初級課程営繕科研修
国土交通大学校
(東京都小平市)

基本設計コンペ

現場見学会等

新規採用職員研修
九州技術事務所（久留米市）
(前・後期とも1週間程度)

職員としての自覚を促すとともに、基礎的知識の習得を目的としています。



初級課程営繕科研修
国土交通大学校（東京都小平市）（1週間程度）

全国の入省1年目の営繕職員が国土交通大学校に集結し、専門分野の設計・積算の基礎知識を習得します。

基本設計コンペ（2ヶ月程度）

入省1年目の職員が、小規模庁舎の基本設計、プレゼンテーションを行いました。コンペをとし、営繕部の業務を行う上で必要な基本的な知識を身につけます。

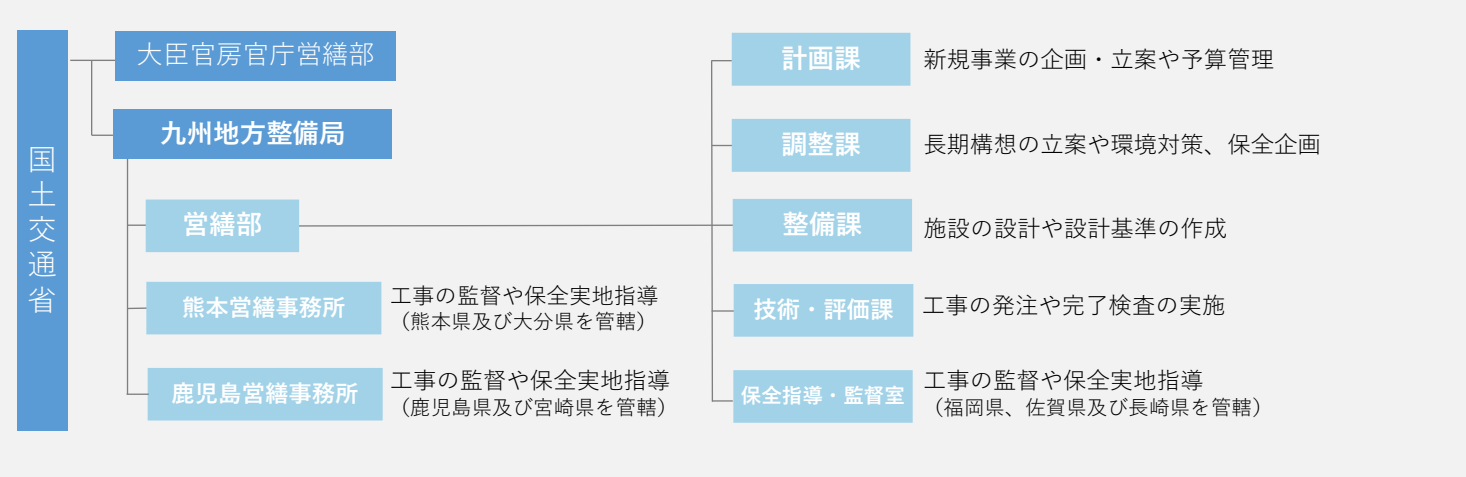


現場見学会等

施工中の建物や、完成した建物の見学会が開催されます。現場に行き、もの作りの一端を直接感じ、営繕技術者としての一步を実感できます。

営繕部のそしき

営繕関係の組織



勤務時間（フレックス制度などもあります。）

- 九州地方整備局営繕部 9時15分 ～ 18時
- 熊本・鹿児島営繕事務所 8時30分 ～ 17時15分

勤務先

九州地方整備局営繕部は福岡市、熊本営繕事務所は熊本市、鹿児島営繕事務所は鹿児島市にあります。



九州地方整備局営繕部



熊本営繕事務所



鹿児島営繕事務所



Q&A

Q1：建築士などの受験資格は得られますか。

A1：例えば、一級建築士の場合、営繕部の設計・施工部門などでの経験は実務経験に該当します。営繕部の若手職員も積極的に試験を受けています。

Q2：学校で学んでいるのは建築以外の分野ですが、採用に応募できますか。

A2：営繕部には建築以外に電気・機械などの分野の職員がいます。営繕部に興味を持たれた場合には、まず問い合わせ先（最終ページ参照）までご相談ください。

「土木営繕もあります」

土木営繕では、九州地方整備局の事務所（営繕事務所・港湾空港関係を除く）が実施する建築物全般の整備に関する業務を行っています。具体例としては、整備局の事務所・出張所の庁舎・宿舍を整備するほか、河川（ダム）の事務所であれば、ポンプ場上屋などの河川・ダム管理施設、道路の事務所であれば道の駅・歩道橋のエレベーター棟などを整備しています。国営公園施設や防災関係施設も担当しています。



国土交通省 九州地方整備局 営繕部
住所：福岡市博多区博多駅東2丁目10-7
電話：092-471-6331（問合せ先：内線5151）



九州地方整備局営繕部のホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-tatemono/>

2022年1月作成